

私が日本に行っている三泊四日の期間、時を同じくしてローマ教皇が同じく三泊四日で訪日しておられました。長崎や広島を訪問し、平和を語り、連日ニュースはローマ教皇をほめたたえる報道でもちきり。日本中がこんなにもキリスト教に興味を持つとは、正直驚いたことでした。訪日期間中、東京ドームで5万人が参加するミサを行ったのですが、つめかけた人々は熱狂し、Tシャツなどの販売グッズは次々と品切れで、まるでアイドルのコンサートのようだったと、ニュースキャスターがコメントしていました。以下、ローマ教皇が訪日時にメッセージなさったことを抜き出して記します。

「(日本には) 社会的に孤立している人が少なくなく、命の意味が分からず自分の存在の意味を見い出せず、社会からはみ出ていると感じている人がいます」  
「日本は効率的で秩序正しい社会ですが、『何か』を探し求めているように思いました。」

たった三日間の滞在で、見事に日本の実情を見抜いておられたことに驚きました。  
そしてその「何か」は、聖書の中に答えがあるということを私たちは知っています。

「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。」ルカ 2:11

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



### 《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

### 《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。私は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

# 2019年12月15日



礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org  
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630  
Facebook: オレンジ郡キリスト教会  
ホームページ: www.occc.org



### [教会年間聖句]

見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。イザヤ43:19

### ☆集会案内☆

日曜礼拝	: 09:30-10:40
ブレイク	: 10:45-11:00
バイスタ	: 11:00-12:00
みふみ会	: (水) 10:00-
定例祈祷会	: (水) 18:30-

